

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

b. IT 実装支援（共通 EDI の構築、データの相互利用、IT 人材の育成支援、サイバーセキュリティ対策の助言・支援 等）

共通 EDI を構築し、データ交換フォーマットを定め、データの相互利用による業務の効率化を図ります。

d. グリーン化の取組（脱・低炭素化技術の共同開発、省エネ診断に係る助言・支援、生産工程等の脱・低炭素化、グリーン調達 等）

環境負荷の少ない商品・サービスや、環境配慮に積極的に取り組んでいる企業から、調達を行うよう努めるとともに、鉄道コンテナ輸送によるCO₂削減を行います。

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

3. その他（任意記載）

①取引先向けの中小受託通報窓口の設置

取引先向けの中小受託通報窓口を設置し、当社との契約やコンプライアンスに違反する（または違反する恐れのある）行為が見受けられた際に連絡・相談できるようにして、問題行為の未然防止や早期解決に取り組みます。

②公正な取引の実施

取引先と必要な情報を交換しあい、取引の条件や相互の行動などについて真摯に評価しあうことで、信頼関係の構築に取り組みます。また、取引先には不当・不合理な依頼をせず、取引価格についてはデータ（相場）等に基づき合理的に依頼・交渉します。

③物流事故・配送トラブルの削減

物流事故や配送トラブルの件数・内容を取引先と情報共有し、発生件数削減に努めます。

2024 年 1 月 19 日
(2024 年 4 月 22 日更新)
(2026 年 1 月 6 日更新)

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

株式会社プレナス

企 業 名

代表取締役 CEO 塩井辰男

役職・氏名（代表権を有する者）